

(閲覧用)

令和2年度 第2回北広島市上下水道事業経営審議会議事概要	
開催日時	集約期間：令和3年1月8日（金）から令和3年1月18日（月）まで 会議の日：令和3年1月18日（月）
出席委員 8人	細谷副会長、関谷委員、田中委員、原口委員、檜山委員 廣上委員、吉岡委員、高橋会長
審議案件	北広島市水道ビジョン・経営戦略の改定について（第1章から第5章まで）
議事録 署名委員	関谷委員を指名

【提出意見（6人提出）】

A 委員

水道ビジョンと経営戦略の区別をわかりやすくすべきである。

「知識、技術の継承が課題」をより強調した方が良い。

給水原価の内訳を示す円グラフは百分率を表記した方が良い。

人口推計は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値を並記しても良い。

基本理念（案）のサブタイトルについて、「50年の歩みを市民とともにいつまでも」と提案する。また、基本理念を表現するイメージ図、絵画を後日市民から募集することを希望する。

B 委員

ボールパーク開業などにより水需要が増加することは間違いないが、現時点で各施設の利用率を量り知ることが難しく、長期計画にどこまで反映できるのか疑問である。計画期間は妥当か。

C 委員

給水実績について、令和2年度のデータ（Covid-19の影響）を参考資料として掲載することも可能と思うが、不確定要素が多過ぎても市民に理解しづらく、誤解を生む可能性も考えられる。

給水原価が他市町村に比べ高いと市民に思われている理由は札幌市の原価との比較である。北広島市と同規模で、より料金が高い石狩市などの原価を掲載しアピールすることにより、市民の理解がより得られると思う。

<p>人口の将来推計について、北広島市が5万人を下回ると見込む時期の説明があると第6章、7章で判断しやすい。一般論として人口5万人が事業の採算ラインとする見解があり、合併せずに50年後の水道を考える上で検討指標の一つとなると思う。</p>
<p>市民アンケート結果を反映した具体例を記載することにより、次回アンケートの回収率が高まる可能性がある。</p>
<p>10年計画で料金改定を行わないとした際、今後30年間に必要となる大規模修繕費などを均等化してコスト配分した資料提供をお願いしたい。受益者負担の原則として、負担の公平性確保、将来世代へ負担を残さないために必要なコストを計算し、マネジメントする計画が推測できれば中期計画を想定しやすい。</p>

D 委員

<p>「アセットマネジメント」についてわかりやすい説明が必要である。</p>
<p>職員の若年齢化について、平成23年度策定の「北広島水道ビジョン」にも同様の記載があるが、改善されない理由は何か。</p>
<p>平成30年度に企業債の起債を再開した理由について説明があった方が良い。</p>

E 委員

<p>長期推計期間とは何か。また、なぜ20年間なのか。</p>
<p>管路施設などの耐用年数は40年以上と長期に渡り、事業運営に大きな影響を与える大規模投資を行うためには、厚生労働省の「新水道ビジョン」で示されているように50年・100年といった超長期的な見通しが必要である。将来に向け計画性を持った適切な料金体系を市民、議会等に示すことが最終的に信頼確保に繋がると考える。したがって、計画期間は20年よりも長い時間軸の幅を持つのが良いと思う。</p>
<p>経営比較分析表に依存した経営指標が記載されているが、「累積欠損金比率」は含めなくて良いか。</p>
<p>「第3章 将来の事業環境」と第4章・第5章の施策との関連性がどのように結びついているのかが分かりにくいので、図表と絡めて整理してはどうか。</p>
<p>適正な料金水準の検討について、例えば5年ごとの定期的実施について計画に組み込んでどうか。</p>
<p>経営指標に関する目標値が掲げられていないが、費用の削減、収納率の向上について、具体的にどのような指標で評価していくのか。 候補としては、経営比較分析表の指標、水道事業ガイドラインに示されている業務指標（PI）などがある。また、財源確保対策で掲げられている広告料収入というものも1つかと思う。測定できないものは管理できないため、主要な指標の目標値だけでも取り上げてはどうか。</p>

SDGs との関連について、具体的取組と絡めて表現してはどうか。例えば、39 ページ「(1) 安全」の箇所には、SDGs のゴールマーク「3 すべての人に健康と福祉を」と「6 安全な水とトイレを世界中に」を貼り付けるなど。現状のままでは、本文中の具体的取組との関連性が見えない。

F 委員

水道ビジョンと経営戦略を統合することは妥当だが名称を「水道ビジョン・経営戦略」とすることは、国への対応から理解できるものの、市民目線からは「水道ビジョン」という名称の中に経営戦略が包含されるとすることもシンプルでわかりやすく、今後の扱いにおいても収まりが良い印象を受けた。

計画期間は妥当だが「将来を見据えた長期推計期間」20 年の必要性について、説明が必要と思う。また、計画期間 10 年間で、中間見直しについての言及が必要ではないか。

全国的な水道事業の課題認識が水道法改正に結び付いたと考えられるため、令和元年の法改正の経緯や趣旨、北広島市としての課題認識について言及が必要と思う。また、民間活用を考慮すると、人口減少を背景に水道事業を民間側から支える担い手が不足傾向にあることも課題として重要な視点であると考えます。

コロナ禍において、水道の蛇口から、清浄・豊富・低廉に誰もが水道水を得られることが、感染防止に効果を発揮したことが、改めて評価されている。そもそも水道は感染症対策など衛生上の必要性から整備されてきた経緯があり、蛇口から衛生的な水が得られることは世界標準ではなく、コロナ禍において命を守る水道が価値のある市民共有の財産であることに言及すべきと思う。

少子高齢化を迎えて民間側の人材も潤沢ではない状況があり、「民間活用」という視点に止まらず、水道事業を持続させるためのパートナーとして、民間側の課題にも目を向け、協調しながらともに水道事業を持続させていくという視点があって良いと思う。

北海道胆振東部地震の教訓として、施設の非常用発電の重要性はもちろん、停電によって計装設備・テレメータ設備が稼働せず、水位や水量などの監視業務に支障が生じたことから、UPS 設備や直流電源設備の強化の必要性が指摘されました。北広島市の状況はどうだったのか。対策を進めているのであれば、停電対策として記載するのが良いと思う。また、「老朽管の更新」について、老朽管の更新により耐震化も進めるといった記述があってもいいと思う。

「ICT の活用」について、民間企業を対象として、工事発注業務や給水装置申請業務における動向はどうなっているのか。請負工事の受託者や給水装置業者の業務が円滑に効率的に進むように、配水管工事の現場や維持管理、給水装置申請などの分野においても、ICT 導入の機運が高まっていると認識している。市として、この分野での取組姿勢を示す必要があるのではないかと考える。

「職員教育の充実・技術の継承」について、「職員 1 人当たりの業務量が増加」「職員の若年化が進み、知識や技術の継承が課題」との記述がある。恵庭市や千歳市、江別市など、同様の状況にあると推察される事業者との課題認識の共有は図られているのか。「広域化の推進に向けた取組」にも繋がるが、周辺事業者と連携を図りながら計画的に職員育成を図ることはできないか。このことは請負業者側の人材育成にも関わりますが、事業者の枠を超え共同で人材育成を図ることが必要と思う。

「広域化の推進に向けた取組」について、「水道法改正の経緯や趣旨」を含めて、もう少し丁寧な説明がなければ市民は理解しにくいと思う。「北海道水道広域化推進プラン」策定に向けた検討会議や地区別検討会議での話題、用水供給ではすでに広域化が進んでいる北広島市を含む近隣都市間で今後どのような可能性があるのかなど、可能な範囲でもう少し説明が必要と思う。事業統合へ向かう道筋は大変困難であると推察するが、そこまで至らずとも、工事発注や維持管理業務の効率化、危機管理、職員育成、広報活動など、近隣事業者間で協調・連携して取組むことが可能な事項はないのか。

【改定案に対する各委員の評価結果】

※各評価項目について5段階で評価（1 そう思わない ⇔ 5 そう思う）

第1章 改定の趣旨及び位置づけ

評価	評価項目			
	計画全体のイメージをつかみやすいか	改定の目的が明確化されているか	改定のポイントがわかりやすいか	計画期間は適切か※未評価1人
5	1人	3人	4人	3人
4	6人	4人	4人	2人
3	1人	1人	0人	2人
2	0人	0人	0人	0人
1	0人	0人	0人	0人

第2章 水道事業の現状と課題

評価	評価項目		
	水道事業・施設の概要がわかりやすいか	水道施設、経営の現状がわかりやすいか	水道事業の課題がわかりやすいか
5	7人	4人	3人
4	1人	4人	5人
3	0人	0人	0人
2	0人	0人	0人
1	0人	0人	0人

第3章 将来の事業環境

	評価項目		
評価	給水人口の推計は適切か、わかりやすいか	水需要の推計は適切か、わかりやすいか	その他の外部環境の変化、内部環境の変化は適切か、わかりやすいか
5	3人	4人	3人
4	4人	4人	4人
3	1人	0人	1人
2	0人	0人	0人
1	0人	0人	0人

第4章 基本理念・理想像・施策

	評価項目	
評価	基本理念・理想像は市民がイメージを共有しやすいか	掲げた施策は、理想像の実現に資するものとなっているか
5	4人	1人
4	2人	4人
3	2人	2人
2	0人	1人
1	0人	0人

第5章 計画期間における具体的取組

評価	評価項目		
	取組事項は適切か	取組内容は適切か	取組内容がわかりやすく表現されているか
5	4人	4人	3人
4	2人	3人	5人
3	1人	1人	0人
2	1人	0人	0人
1	0人	0人	0人

第1章から第5章までの全体を通して

評価	評価項目		
	文章表現などは適切か	表やグラフは見やすいか	色使いや文字の大きさは適切か
5	3人	5人	3人
4	5人	2人	3人
3	0人	0人	1人
2	0人	0人	1人
1	0人	1人	0人

以上、会議のてん末を記録し正確を期するため、ここに署名する。

令和 年 月 日 _____

議 事 録 署 名 委 員 _____